

Press Release



2016年10月25日

コベストロジャパン株式会社

このプレスリリースは10月18日にドイツ・コベストロ社が発表したものを日本語に翻訳したもので、報道関係者各位へ参考資料として提供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語を優先します。原文は www.covestro.com をご参照ください。

コベストロ、10月19日から26日までデュッセルドルフで開催のK2016に出展

可能性の限界を押し広げる革新的な開発

- CO₂ を有効利用したプラスチック
- 多数のプレゼンテーション、話し合いの場を提供
- デザイナーとの対話にフォーカス
- 先見性のある電気自動車のデザインコンセプト

ドイツ・レバークーゼン、2016年10月18日

世界有数の素材メーカーとしてコベストロのビジョンは、革新的かつ持続可能なマテリアルソリューションによって世界を明るくより良い場所にあることです。「私たちは世界が直面する最大の課題の中のいくつかに答えを提供し、社会と環境の双方に利益をもたらすソリューションを開発しています」と、コベストロ CEO のパトリック・トーマスは、10月19日から26日までデュッセルドルフで開催される K 2016 プラスチック産業展のキックオフ式典で述べました。

「私達は例えば、温室効果ガスである二酸化炭素を有益なプラスチック製品に変換する方法を見出しました。CO₂ の分子の反応は極めて遅いためこれまでは不可能でしたが、既存の限界を押し広げ、合成の鍵となる特殊な触媒を開発したのです」とコベストロの CEO は続けます。



CO₂をベースとするフォームが使用された初めてのマットレスやクッションは、今年の末までに市場に投入する予定で、さらにそれ以外のアプリケーションにも採用を広げようとしています。コベストロはK 2016で他にも先駆的な開発を展示しています（第6ホール、スタンドA 75）

一体化されたイノベーションコンセプト

「このような開発はコベストロの高い革新力によるものです。開発は私たち自身の研究に頼るだけでなく、より幅広いアプローチを追及しています。起点となるのは、重要な貢献者であり当社のイノベーション文化の不可欠な要素である従業員です」とイノベーション担当取締役のマーカス・シュタイルマンは述べています。

既存の限界を押し広げるには、さらにお客様、プロセスチェーン、サプライヤーおよび大学との徹底した協力が必要です。「当社のすべての開発は持続可能性の目標も満たさなければなりません。エネルギー効率を推進し、人々の生活を向上させると同時に化石原料の使用を低減しなければならないのです」とシュタイルマンは補足しました。

超軽量素材による先駆的な成果

燃料を全く使用せず世界一周という人類の長年の夢はつい最近、達成されました。ソーラー飛行機を使用して、スイス人パイロットのベルラン・ピカール氏とアンドレ・ボルシュベルグ氏は、これまで不可能と考えられていたことを見事に達成したのです。この挑戦に成功する唯一の方法は、超軽量で高強度の材料の開発で、コベストロがソーラー・インパルス機の機体のために特別に開発しました。「材料設計の限界を押し広げることによって、私達はプロジェクトの成功に重要な貢献を果たしました」とパトリック・トーマスは述べています。コベストロが限界を押し広げているその他の例は、www.pushingboundaries.covestro.comでご確認いただけます。

多彩な才能

コベストロは、K 2016のブーススタンドのデザインでも新しい領域に踏み込んでいます。スタンドはコベストロのロゴを反映して初めて円形に設計されました。透明なポリカーボネートの壁はコーポレートカラーに装飾され、展示品の背景に立っています。

「スタンドの構造は全体的に透明感と開放感があり、ビジターの皆様が立ち寄って話がしやすい雰囲気を作っています」とスタンドマネージャーのウルリッヒ・リーマンは述べました。展示品は産業別にまとめられています。自動車、建築および電子業界のための製品やテクノロジーだけな



く、ヘルスケア、化粧品、スポーツおよびファッションなどの分野でも新しく予想外のアプリケーションを見ることができます。

ワクワクするようなテーマを毎日提供

フェアが開催される8日間は、毎日異なるテーマでコベストロがどのようにして限界を押し広げているのか体験することができます。プレゼンテーションや、業界の専門家および大学の研究者とのパネルディスカッションはトピックごとにさらに深くまで踏み込み、人的交流を促進します。メインテーマは次のとおりです。

自動車（10月19日）

コベストロは、デザインを専攻する学生および自動車業界のパートナーと協力し、既存の限界を押し広げる電気自動車の新しいデザインコンセプトを開発しました。このコンセプトは、外装デザインの現在のトレンドを取り入れ、ライフスタイルカーの形で表現されています。たとえば、透明ポリカーボネート製の全体を包み込むようなグレージングやフロントエンドのシームレスなデザインなど優れた特長があります。当日は、自動車デザインのコンセプトや現在のトレンドの進化についてご紹介し、スウェーデンの著名なウメオ大学デザイン研究所のデミアン・ホルスト教授によるプレゼンテーションを予定しています。

サイエンス・セレブレーション・デー（10月20日）

限界を押し広げるイノベーションは、大学および科学研究機関を含むパートナーとの協力から生まれます。よってこの日は、研究と科学の新興を図ります。コベストロ科学賞をキャリアを始めたばかりの大学研究者に、コベストロ科学メダルを優れた研究者に初めて授与します。

持続可能性（10月21日）

イノベーションだけでなく持続可能性もコベストロの企業戦略の中核であり、すべての開発を背後から支える重要な基準です。コベストロは、自社のテクノロジーと製品が環境と社会の大義のために役立ち、世界を明るくより良い場所にすることを希望しています。この日のスペシャルゲストはソーラー・インパルス創設者ベルトラン・ピカール氏で、太陽エネルギーによる世界一周飛行についてスピーチします。



もうひとつのトピックは、化石燃料源から発生する炭素です。持続可能な炭素ベースのマテリアルソリューションの開発においてこれらが果たす特殊な役割、そしてこれらの製品のライフサイクル全体における炭素の総発生量です。

プラスチックを使用した創造的デザイン（10月24日）

個性化とデザインの自由度が現在のデザイントレンドです。10月24日はこのテーマのもと、デザイナーとの対話を広げます。

創造性と今日の高性能素材の可能性とを最適に組み合わせるため、コベストロはデザイナーのニーズをより深く理解するという新しい目標を設定し、またプラスチックの特性についてデザイナーに教育もしています。

2016年春、ミュンスター建築学校でデザインを専攻する学生達と協力し、「コベストロ・メイカソン(ものづくりのマラソン)」と題された1週間のワークショップを開催しました。このイベントの間に、学生達はプラスチックのアプリケーションに新しく予期外の可能性を発見しました。その中で最も刺激的だったアイデアがK 2016で展示されています。

最新の素材を直接手に取って理解

サンプルバーでは、視覚、触覚および聴覚を通してコベストロの素材の魅力的な特性をより直接的に見出すことができます。QRコードでサンプルアプリ（Sample Add）をダウンロードすると、選択した製品の情報にモバイルでアクセスすることができます。

コベストロは、また、*Design Chain @ K* 会議を後援しています。25日にはコベストロのデザイナーネットワーク、そして Idea.Lab の責任者であるレベッカ・ハイルが革新的で創造的なマテリアルソリューションについて話します。

3D印刷（10月26日）

コベストロがK 2016で提示するテーマのひとつで、複数の業界と製品グループを横断するのが3D印刷です。3D印刷は、試作品の製造ではこれまでにないほど効果的であることを実証しました。業界は将来的に効率的な大量生産の機会があると見ています。そのため課題のひとつは適切な素材が不足していることです。



コベストロは現在、すべての一般的な 3D 印刷方法向けの幅広いフィラメント、パウダーおよび樹脂を開発しています。製品はそれぞれ特性が異なり、幅広い新アプリケーションを可能にします。最近、レバクーゼン本社内に助剤製造のための新しい研究所を開設しました。

人材の発掘

K 2016 でコベストロは、学生、若い従業員および熟練した専門家を雇用する魅力的な雇用主であることもアピールします。好奇心の強い求職者は、キャリアバーを訪問すればすべての質問に答えられる適切な担当者に出会うことができます。また、ブーススタンドでは革新的な開発を間近で体験することができます。コベストロのコーポレートバリューである curiosity (好奇心)、courage (勇気) および colorful (精彩) によって刺激を受けることでしょう。

「Plastics Shape The Future (プラスチックは未来を創る)」

プラスチック・ヨーロッパ工業会の会長としてパトリック・トーマスは 10 月 19 日に第 6 ホールで行われる「Plastics Shape The Future (プラスチックは未来を創る)」特別展示のオープニングに出席します。どのような開発によってプラスチックが未来を創り、どのように人類が直面する主要な課題にこれまで以上に貢献することができるのかについてお話しします。

ジャーナリストの皆様を、第 6 ホールのスタンドギャラリーにあるコベストロ・プレスセンターにご招待します。展示されているイノベーションの話やコベストロ K 2016 プレスキットをお渡ししています。ご希望があれば、ブーススタンドをご案内し、インタビューをアレンジいたします。

10 月 19 日から 26 日までドイツのデュッセルドルフで開催される K 2016 プラスチック産業展の第 6 ホール、スタンド A 75 にお越しください。詳細は、ウェブサイト <http://www.k2016.covestro.com/> をご覧ください。

コベストロ社について

コベストロ社は 2015 年度売上高が 121 億ユーロの世界最大のポリマー製造企業のひとつです。主たる活動分野は、高機能ポリマー材料の生産、および日常生活の多くの分野で使用されている製品の革新的ソリューションの開発です。主要な顧客は、自動車、電気/電子、建築、スポーツ・レジャーの各産業です。コベストロ社 (旧バイエルマテリアルサイエンス社) は、世界中の 30 拠点に生産施設があり、社員数は 2016 年第 1 四半期末で約 15,800 人です。



詳しくはこちらをご覧ください。 covestro.jp

【この件に関するお問い合わせ先】

コベストロジャパン株式会社

〒105-0011 東京都港区芝公園 1-7-6 クロスプレイス浜松町 7F

広報部 梅澤 Tel:03-6403-9112 / Fax:03-3436-1540

将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements)

このニュースリリースには、コベストロ社による現在の試算および予測に基づく将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements) が含まれている可能性があります。さまざまな既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因により、将来の実績、財務状況、企業の動向または業績と、当文書における予測との間に大きな相違が生じることがあります。これらの要因にはコベストロのウェブサイト (www.covestro.com) に公開されている報告書に説明されているものが含まれます。コベストロは、これらの将来予想に関する記述を更新し、将来の出来事または情勢に適合させる責任を負うものではありません。